

【様式 gc2-1】

大学院認定遺伝カウンセラー養成専門課程 認定審査申請書

西暦 年 月 日

認定遺伝カウンセラー制度委員会 殿

本養成課程は認定遺伝カウンセラーの養成を目的に本学大学院に設置された専門課程です。添付書類に記載のとおり、本養成課程は教育内容が認定遺伝カウンセラー制度委員会による養成専門課程としての機能を十分にそなえていると考えますので、必要書類を添えて申請します。

| | | | |
|-------------------------|--|----------|-------|
| (フリガナ) 養成課程 正式名称 | () | | |
| 同上所在地 | 〒 | 電話 : | FAX : |
| (フリガナ) 研究科長 職名・氏名 | 職名・氏名 | | 公印 |
| (フリガナ) 養成課程 責任者名 | 所属・職名・氏名 | | 印 |
| 養成課程 HP アドレス | http://www. | | |
| 事務連絡先 | 担当者氏名 : 所属部・課(科)名 : 電話 : FAX : E-mail : | | |
| 認定養成課程 登録番号* | P - | 初回登録年月日* | |
| 初回登録期限* | 西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日 | | |

注意事項

- 1) 黒インク又は黒のボールペンを使用し、楷書で記入して下さい。
- 2) *の欄は記入しないで下さい。

必要書類(十分な教育が可能かどうかを判断するために必要な情報となりますので、必ず添付してください。)

- ・養成課程状況報告書(1)~(3)
- ・大学院研究科長の証明書
- ・養成課程責任者の履歴書

養成課程状況報告書（１）^{注1}（必要事項が記載されていれば別紙記載可）

養成課程の正式名称：

養成課程の責任者名（所属及び職名）：

養成課程の概要（設置目的、設置年月日、大学におけるコースの位置付け、カリキュラムの特徴、教員組織の概要、修了単位認定方法等）

学生の定員と選抜入試の概要^{注2}

注1 報告時点において該当しない項目については今後の方針をご記入下さい。

注2 入試概要・入試要項・入試説明会資料等、コースに関して公開された資料がありましたら添えてください。

養成課程状況報告書（3）

1. 標準カリキュラムと養成課程カリキュラムの対照表

| 標準カリキュラム（日本遺伝カウンセリング学会誌、24（2）63-77, 2003より） | | | | | | 養成課程カリキュラム | | |
|---|-------------|---|----|----|----------------|------------|----|-----|
| 到達目標 カテゴリ | 科目 | 到達目標該当箇所 | 単位 | 時間 | 方法 | 科目 | 単位 | 時間数 |
| I | 基礎人類遺伝学（1） | 1. 1) 遺伝学史 2) 細胞遺伝学 3) 分子遺伝学 4) メンデル遺伝学 5) 非メンデル遺伝 6) 集団遺伝学と遺伝疫学, 家系分析 7) 遺伝生化学・遺伝薬理学 8) 生殖・発生遺伝学 9) 体細胞遺伝学 10) 腫瘍遺伝学 11) 免疫遺伝学 | 4 | 60 | 講義 | | | |
| | 基礎人類遺伝学（2） | 染色体・DNA 検出と正常・異常の識別 家系図作製・遺伝確率 | 2 | 60 | 演習 | | | |
| | 臨床遺伝学 | 1. 12) 遺伝医学・遺伝医療 | 2 | 45 | 講義(1) 演習(1) | | | |
| | 遺伝サービス情報学 | 遺伝関連情報・情報検索方法 | 1 | 30 | 演習 | | | |
| | 遺伝医療と社会 | 4. 遺伝医療と社会 | 1 | 15 | 講義 | | | |
| | 遺伝医療と倫理 | 3. 遺伝医療と倫理 | 2 | 45 | 講義(1) 演習(1) | | | |
| I, II | 医療カウンセリング概論 | 2. 保健医療の場に来る健康問題を持つ人々の心理的特性とその対応の基本 | 1 | 15 | 講義 | | | |

| | | | | | | | | |
|------------|-------------|---|----|-----|----------------|--|--|--|
| | 遺伝カウンセリング | 2. 事例によるカウンセリングの実際、含む文献購読 | 3 | 75 | 講義(1) 演習(2) | | | |
| II, III | 遺伝カウンセリング実習 | 遺伝カウンセリングを行っている施設で遺伝医、遺伝カウンセラーの指導のもとで実践的に学ぶ | 6 | 180 | 実習 | | | |
| | | | 22 | 525 | | | | |
| III | 遺伝カウンセリング研究 | | 8 | | 演習 | | | |
| | | | 30 | | | | | |
| | | | | | | | | |

☆ 1単位の時間数は、講義 15 時間、演習 30 時間、実習 30 時間で計算。遺伝カウンセリング研究は単位数のみで提示。

その他の修士課程カリキュラム（例：学生の卒業学部の専門性に対応して選択科目を課している場合など）

| 科目 | 単位 | 時間数 | 添付資料 |
|----|----|-----|------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

* 記載上の注意

- 1) カリキュラムの詳細については、専門コース独自の工夫があるべきと考えていますが、日本遺伝カウンセリング学会誌、24 (2) 63-77, 2003) の到達目標に合致したものであることがわかるように記載してください。
- 2) 大学院修了要件（単位数など）や実習・演習の扱いについては専門コース所属の大学院の規定に従ってかまいませんが、到達目標が達成されていることが条件になります。
- 3) 学年進行表・時間割・各科目のシラバスを添付してください。

証 明 書

本学大学院研究科では、認定遺伝カウンセラー制度
に則った養成課程を設置していることを証明します。

西暦 年 月 日

大学院名

所在地

研究科長職名

研究科長氏名

公印